



耳下腺・顎下腺・**甲状腺**の手術を受けられる ( ) さま

主治医は、 \_\_\_\_\_ です  
 病棟師長は、 \_\_\_\_\_ です  
 担当看護師は、 \_\_\_\_\_ です

月・日・曜日	入院日～手術前日 / ( )	手術日 / ( )	手術後1日目 / ( )	手術後2日目 / ( )	手術後3日目 / ( )	手術後4日目 / ( )	手術後5日目 / ( )	手術後6日目 / ( )	手術後7日目～ / ( )	退院日 / ( )	
		手術前	手術後								
食事・栄養	普通食 麻酔医の指示により、( )時から食べられません ( )時から飲みません		翌日の朝まで食べたり飲んだり できません(主治医の指示により 飲水できることもあります)	朝:5分粥 昼:粥	朝～普通食 (手術後の経過に応じて、変更になる場合があります) 						
排泄			尿道に管が入る場合があります	朝、尿道の管を抜きます <span style="float: right;">売店で購入してください</span>							
安静			ベッド上で安静に過ごしましょう	尿道の管を抜いた後、めまい、ふらつきがなければ、歩いてトイレへ行けます 							
処置	* 耳下腺の手術の方は、手術前日に切毛があります		傷の横に細い管が入り、排液の バッグがつきます	毎日ガーゼ交換があります。(耳鼻科処置室) * 朝9時頃、排液量を看護師が確認しますので、お部屋でお待ちください			排液量が減ってきたら、 傷に入っている管を抜きます		抜糸 * 傷あとに肌色のテー プを貼ると傷あとが目立たな くなる効果があります		
清潔	手術前日に、 入浴・洗髪して下さい 	歯みがき・爪切りをしておいてください 手術当日の入浴は控えて下さい 【手術室に行く前に】 手術衣に着替えます(看護師が準備します) 弾性ストッキングをはきます		発熱や出血がなければ、 ガーゼを濡らさないようにして、シャワー浴・体拭きができます 			傷の状態により、洗髪ができます 		抜糸、翌日から入浴・洗髪で きます 看護師にご相談ください		
点滴・服薬		午前中に点滴が1本あります 	抗生物質・止血剤などの点滴を します。点滴は、翌朝まで続けま す。	抗生物質の点滴が、朝(9時頃)と夕(16時頃)にあります			 		医師の指示があれば、点 滴が内服薬にかわります		
検査				手術後に採血や検尿などの検査があります。検査については適宜お知らせします。							
説明・指導	<b>[物品の準備]</b> ・T字帯 ・前開きの寝衣、下着 	指輪、ネックレス、メガネ、コンタクトレンズ、 時計、義歯をはずし、大切に保管しておい て下さい 女性の方は、化粧、マニキュアを落としてお いて下さい ヘアピンを外し、髪の長い方は結髪してお いて下さい	酸素マスクをつけます しっかり深呼吸してください  頸部の手術後、翌朝まで心電図 を装着します 夜、ファイバーでのどが腫れて いないか見ます	 カキッ						 【退院日】8時45分～ 耳鼻科外来にて診察があり ますので、朝食後、外来へお りてください(外来の看護師 に声をかけてください)  ※ 水曜日・土曜日・日曜日 は病棟で診察があります	
			<b>手術後に起こりやすい症状</b>	<b>&lt;退院に向けて&gt;</b> 肌色テープを貼りましょう。 入浴前にテープをはがし、入浴後に新しい テープを貼ってください。  * テープかぶれする方は、肌色テープの 使用を控えてください。また、傷あとが気にな らない方は、肌色テープを使用しなくて も構いません。 							
			<b>&lt;痛み&gt;</b> 傷やのどの痛み、腰痛があれば、我慢せず早めにお知らせください 全身麻酔をかける時にのどに管を入れます。その刺激で、術後にのどの痛みを感じる場合があります。								
			<b>&lt;出血&gt;</b> ガーゼや包帯の上まで血がにじんでいたら、すぐにお知らせください。また、出血予防のため、首に力を入れたりするのは避けてください。								
			<b>&lt;甲状腺の手術を受ける方&gt;</b> 口唇・手指のしびれ、声が枯れてしゃべりにくい、息苦しいなどの症状があれば、早めにお知らせください。								
			<b>&lt;耳下腺の手術を受ける方&gt;</b> しゃべりにくい、口が動かしにくいなどの症状があれば、早めにお知らせください								

\* 病状に応じて、予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずねください。



次回受診日

( / )

